

公園の風景

= カムリカイツブリ大集合 =

1月初旬の日曜日に観察展望棟の東側に広がる山口湾を堤防沿いに歩いてみると100羽近くの鳥たちが集まっていて、カモメも飛び交いなにやら賑やかでした。これが鳥山（魚群の上をたくさんの海鳥が海面近くに群れて活動する様）といわれる現象なのでしょうか。年に数回こういう現象が起こることがあるそうです。鳥たちは少しずつ移動しながら海に潜っては魚を捕まえている様子。海の中には魚の集団がいて絶好のお食事処だったのでしょう。鳥山の中にはカモメやウミアイサ、ホシハジロなどもいましたが、多くはカムリカイツブリでした。白く長い首が遠くからでもはっきりわかりました。



山口湾に大集合したカムリカイツブリなど

= 鳥インフルエンザ =

昨年末から鳥インフルエンザの話題が取りざたされ、新年になって山口市内でもホシハジロの死骸から陽性反応がでたとの報道がされました。この報を受け公園は、駐車場に面する3つのゲートのうち西側のゲートを閉鎖するとともに、2つのゲートとビジターセンターの入り口に消石灰を撒いて防疫対策を講じています。公園では「現時点では全く心配無い。今後とも注意深く監視を続け情報を発信していくが、鳥も被害者です、あたたかく見守って下さい」と話しています。

